



●病院理念●

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

ホームページ <https://hospital.ompu.ac.jp/>

病院ホームページ



発行
大阪医科薬科大学病院



「大学病院新本館A棟開院」特集

2022年7月 A棟開院 超スマート医療を推進する大学病院

- すべての施設利用者のストレスが軽減される病院
- 時代の変化に柔軟に対応でき、継続的に質の高い医療を提供する病院
- 次代を担う人材を育成する病院

自然・建築・インテリア・アートの
それぞれをシームレスにつなぐことで
人の感覚に寄り添うデザイン



Biophilia



建築 インテリア

自然



Art

自然と触れ合うことで
健康や幸せを得られる空間を目指す

癒しや温もりを感じる
親しみあるアートの力で
「心地よい環境」の提供を目指す



12F	化学療法センター がん相談支援センター
11F	A11病棟
10F	A10病棟 (病棟リハビリルーム)
9F	A9病棟
8F	A8病棟 (病棟リハビリルーム)
7F	A7病棟
6F	スタッフ専用エリア
5F	血液浄化センター 輸血室
4F	消化器内視鏡センター 臨床研究センター 生理機能検査
3F	カテーテル室 (低侵襲血管内治療センター) 救命救急 ICU
2F	放射線画像検査
1F	救命救急センター 総合診療科 時間外受付 コンビニ
B1F	RI検査

1F 救命救急センター



3F 救命救急ICU



救命救急

北摂地域の一般病院で治療が難しい心筋梗塞や脳卒中、また事故等による重度な外傷など、生命に危険がある重症患者さんに対し、初期の高度治療を専門に行う救命救急センターを設置。

救命救急センターには一般撮影室・救急撮影室・CT検査室及び手術室を備え、検査と治療を合わせて迅速に行うことができます。

また1階の救命救急センターから3階の救命救急ICUへは専用エレベーターで患者さんを搬送することができ、中央手術棟とも同じ階で直結されているので、移動による患者さんの負担は極めて少なく、救命率の向上につながります。

新棟開院について 病院長 南 敏明

2022年7月1日に最新設備を導入した病院新本館A棟が開院し、1階には救命救急センターが新設されました。眺めが素晴らしい最上階の12階には先進的な「がん」に特化したがん医療総合センターを配置しました。超早期リハビリが有効な循環器内科・整形外科・脳神経外科の病棟内にリハビリテーション室を設置しています。今後、中央診療棟を解体し2025年7月にB棟が完成致します。それまで動線が複雑となりご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願い致します。

救命救急センター開設について 救命救急センター長 高須 朗

新しく大阪医科薬科大学病院救命救急センターが誕生しました。1階にはCT室隣接の蘇生・手術室があり、その他、三次蘇生室1室、二次救急処置室2室、一般外来診察室6室、観察・処置室3床が設置され、災害時など有事の際には最大9名の重症患者の同時治療が可能です。3階の救命ICU(EICU)(20床)へ専用エレベーターで直結されスムーズな流れで治療を行います。大学病院併設型のため各専門医のバックアップが強化され、守備範囲の広い救命救急医療を展開してまいります。



2F 放射線画像検査

MRI(4室)とCT(4室)を含む計20室の検査室を設け、迅速かつ正確な画像診断に基づいて、疾病の早期治療につなげます。



8F・10F 病棟リハビリテーション

8階と10階に病棟リハビリテーション室を設けています。患者さんの状態に合わせて、早期からリハビリテーションを行うことができ、疾患の回復や日常生活の質の改善を目指します。

また11階には血液がん治療のための無菌病室(個室6室・4床室2室)を設けています。

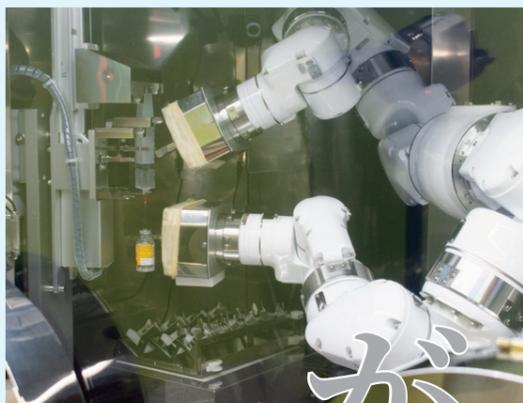
スタッフステーションにはビタミンカラーをベースに地域の植物を大きく配することにより、生命力を感じさせると同時に柔らかさを取り入れ、患者さんやスタッフに安らぎを与えます。



12F 化学療法センター

12階にはがん医療総合センターとしてがん診療の機能を集約し、チームで最優のがん治療を行います。

また、抗悪性腫瘍薬の混合調製ロボットの導入により効率的で安全な調製を実現し、薬剤師は患者さんの副作用マネジメントに専念できるようになります。



がん医療

新任のご挨拶



一般・消化器・小児外科 診療科長
李 相雄

2022年4月1日付で、一般・消化器外科学教室の教授、一般・消化器・小児外科の診療科長を拝命致しました。当科は、高難度消化器外科手術、ロボット支援下低侵襲手術、そして小児外科治療に至るすべての年代に対応できる診療体制により、三島二次医療圏の外科医療の中心的役割を担っています。今後も質の高い外科手術を提供しつつ、超高齢社会に即した横断的協力体制による低侵襲集学的治療を進めてまいります。教職員とともに、「患者さん、教職員とその家族、そして地域社会から、信頼され称賛される大阪医科薬科大学」を目指して、日々の外科診療に従事してまいります。

術を提供しつつ、超高齢社会に即した横断的協力体制による低侵襲集学的治療を進めてまいります。教職員とともに、「患者さん、教職員とその家族、そして地域社会から、信頼され称賛される大阪医科薬科大学」を目指して、日々の外科診療に従事してまいります。

お知らせ

7月に病院Webサイトをリニューアルしました。



<https://hospital.ompu.ac.jp/>

シャトルバス(大阪医科薬科大学病院⇄JR高槻駅)の構内乗降場所の変更について

2022年8月より、乗降場所が総合研究棟前に変更になります。

